

# あの寅さんがまたまたなななにな

## —映画の友情の紹介—

フーテンの寅さんシリーズの男はつらいよ  
で人気絶頂の寅さん(運美清)が、来月公  
開される映画の中で「土方」の役をやること  
になった、というので、さっそく松竹へまき  
にいった。

松竹八〇年記念映画で宣伝ビラには「秋の  
超大作」と銘うってあるもので、題名は「反  
情」、監督は宮崎晃、主演運美清が片務者・  
矢沢源太郎、共演は学生・三浦宏へ中村勘九  
郎へ反部紀子(松坂慶子)など。宣伝ビラの  
大文句を再び——「異性との愛に支えられな  
がらも、目的の定まらぬ将来への不安を抱き  
続ける若者、妻子を捨て故郷を捨て苦し  
むを胸に秘め已める男とのふれあいの中で、  
すべての悩みを昇華させて行くという心暖ま

る脚本——もっとも、まだ完成しておらず、  
映画なんてのは演出次第だからどんなものか  
わからず、スイセンをさるものかどうか今の  
ところはわからない、ま、期待はしてるけど。  
封切は来月なので、もしよければ、また、  
シブリオなんかも紹介したいと思う。

▲あら  
すじは  
こう進む  
三浦へ中  
村へ反  
部へ松坂  
へは同巻  
中の若い  
二人だ。

### 来月号の予告と原稿募集

**バンク(売血)特集です!!**  
おなじみの京橋のあれだ。ミ  
ドリ十字とはどんな会社か。  
どれぐらいもついているのか。  
なせ四年間100円のままか。な  
どの調査をはじめ大特集です。  
体験記、思ったこと、噂のこ  
つてことを書いて下さい

三浦は、たむ工事現場で働いたのしほらく  
山おくへ行く。その途中で、矢沢(運美)と  
出会うわけだ。彼はその現場で働いている  
が前夜町で飲みすぎ帰るところだったのだ。  
そこで三浦はケガをしたりするが、すつと矢  
沢に世話になるわけ。

数か月後、二人は東京で再会、というの  
はケニ力にまきこまれて上野でスタ箱入りした  
矢沢の身元引受人に三浦がなつたんだ。とし  
て再会を祝って毛ガニをさかんに一杯やるわ  
けだ。ところが食中毒をおこして二人はその  
三浦のアパートで反部(松坂)の看病をうけ  
る。途中、反部のオジがでてきて若い二人に  
「別れろしとか干渉するのだが、矢沢は「い  
いかげんにしろジジイ」と迫いかえす。

元氣になつた矢沢は、瀬戸内海の現場へ行  
くことになり、三浦も一緒に旅に出た。

岡山の旅館で矢沢は初めて政郷・真鶴島の  
ことを話した。漁師で食べなくなり出稼ぎに  
出るようになった。だが、いい仕事を求めてあち

こち行くようになり、そのうち借金もせず、  
手取も出さず、一度も島に帰らず、五年にな  
る、という。だが、女房に会いたくなり「一  
人じゃ憂鬱が出ない」と三浦をとまなつて帰  
る決心をした。しかし出航寸前に矢沢は船を  
降りたので、三浦は島へ行く。そこで一家の  
現状、つまり、矢沢の仕送りがかげれ生活に困  
つた妻加代(佐々木愛)は二人の子と矢沢の  
父を連れて矢沢の幼友だち健太(米倉斉四郎)  
と再婚し幸せに暮らしているということを知る。  
運船船が帰つて来た。三浦、ハッと立止る。

源太郎が降りて来た。三浦は帰ろうとしたが、  
源太郎がどうしても離さなかつた。  
下の子供「おれ、母ちゃん」上の子供「父  
ちゃんよ」下の子供「うそ」——健太が帰つ  
て来た。すべてを察した矢沢は、無理に作っ  
た笑顔を隠して去って行くのだ。帰りの船で  
矢沢は泣いた。妻も子も父も、そして政郷も  
うしなつた男が泣きつアける——